

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 サンヨーフーズ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0006 岡山県笠岡市みの越13番	
本票作成	部署名：設備管理課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	弁当・おにぎり・寿司の製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市みの越13番	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	5,525 t CO <sub>2</sub>	5,630 t CO <sub>2</sub>	5,249 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	笠岡工場	5,630 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：令和2年度～令和6年度(5箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△12.8%	5.0%	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産食数 R元年度 61,028,286食 R5年度 55,110,064食	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		90.531 t CO <sub>2</sub> /(百万食)	102.100 t CO <sub>2</sub> /(百万食)	86.000 t CO <sub>2</sub> /(百万食)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

食数では前年対比で98.4%、電力使用量は96.7%、LPG使用量は95.7%と食数、電力使用量、LPG使用量は共に減少したが、原単位基準は16.2%増加になり目標達成には至らなかった。夏季気温の上昇による空調負荷が増加し電力使用料の増加傾向が続く中、老朽化した設備は計画的に更新を行い今後も継続して省エネ活動に取り組みたい。

**【推進体制】**

笠岡工場 ○省エネ推進 ○エコアクション21推進	委員長（工場長）－エネルギー管理者－各部署担当者 統括責任者（取締役本部長）－委員長（工場長）－各部署担当者
--------------------------------	---

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
株サンヨーフーズ笠岡工場	(5年度実施分) 業務拡張による増設工事の実施内容 ①2023年04月 2階食堂空調機取替工事(更新) ②2023年12月 盛付室空調機取替工事(更新) ③2023年02月 チルド盛付室新築工事(新規)  (6年度計画分) ①手洗い室・靴ホール空調機取替工事(更新) ②チルド肉庫空調機取替工事(更新) ③新チルドライン増設工事  (節電取組) ①夏季空調負荷低減の為、空調機室外機へ遮熱シートの取付 ②工場内照明、生産設備の未使用時はブレーカOFFを実施 ③排水処理場ブロアー間欠運転の実施  (今後実施予定分) ①老朽化した空調、冷蔵設備の入替工事

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

平成25年度よりBEMS(エネルギー管理システム)を導入。デマンド管理を行い、電力(CO2)の削減に向け継続的に運用を実施している。
--